学校番号	105

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術Ⅰ、美術基礎の授業で学んだことを発展させて、作品の制作と鑑賞を行います。
自分の作品を完成させることや、鑑賞した作品について感じる・考えることが目標になります。
その活動の中から、生活の他の場面でも活きてくる新しい視点を見つけられればより良いと思います。新しい視点を見つけるというのは、例えば、何かを観察して描写する中で、普段見えなかったその物の特徴に気付いたり、ある作品がどういう意図でデザインされたか考えることで、身の回りの様々な製品についても、どうしてその色や形なのか考えるようになったり、といったことです。
そのように、授業から自分の中に新しいものを取り入れるためには、本気で活動に取り組むことが必要です。本気になるために一番手っ取り早いのは、その活動を「楽しむ」ことです。
もし、興味が持てなかったり苦手だったりすることであっても、「やってみたら案外楽しいかもしれない」と思って、楽しみを自分で見つけ出すつもりで授業に臨んでみたら自分にとって良い結果が得られるはずです。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、美術文化に対する理解を深め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。そして、表現活動を通じて自己の主体性と独自性を確認することで自己を肯定し、様々な対象や経験から豊かな美的体験を得られる感性を育むことで自らを取り巻く他者と世界を肯定して、それらを合わせて人生を肯定的に捉えて生きていくための力とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	様々な美術文化への理解を幅広く理解している。 創造的な表現をするために必要な技能を見につけ、これまでの知識を活用し表現している。	創造的な感性のもとに、想像力を働かせて主題を形成し、構想を練っている。 作品の良さや美しさを感受し、自らの意図に基づいて工夫しながら制作している。	美術文化に興味・関心を持ち、主体的に表現方法を工夫しつつ、完成度を追及して表そうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	興味のあることを描く	・絵には、様々な描き方があり、生活の中での楽しみ方も多様である。自分なりの描き方や描くことの楽しさなどについて考え、表現する。 ・身近なものや風景の中から、形・色・描き方などに着目し、興味を持って改めて観察をして工夫して描く。	a:形や色彩などの効果、全体のイメージや作風などを捉え、表現方法を追及して創造的に表す。 b:対象への印象などを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 c:興味のあるものの特徴や美しさ、楽しさを捉えて表す学習活動に、主体的に取り組む。	作品	作品 アイデアスケッチ ワークシート	ワークシート 振り返り 観察
2学期	情報の視覚化	・社会の中に多数ある数値による統計資料を整理し、形や色彩の効果などを生かして伝えたい内容を視覚化し、わかりやすく美しく表現する。	a:分かりやすさや美しさに着目し、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、表現方法を追及して創造的に表す。 b:伝えたいデータの内容と、分かりやすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 c:伝えたい情報やグラフ、イラストなどを用いて効果的に表す学習活動に、主体的に取り組む。	作品	作品 アイデアスケッチ ワークシート	ワークシート 振り返り 観察
	目に見えないものを写す	・写真というものは、同じ情景でも撮り方によって印象が大きく変わる。 ・写真には写っていない感情の動きや自然現象などを感じさせ、より魅力的な写真になるよう工夫をしながら撮影する。 ・完成した作品を鑑賞し意見交換をする。	a:構図や色彩、光や影、時間帯などの効果、全体のイメージを捉え、カメラの特性を生かして表す。 b:被写体の印象などを基に、見えないものを表すための効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 c:目に見えないものを写真で表す創造活動に主体的に取り組む。	作品	作品	振り返り 作品鑑賞カード 観察

3学期	自分らしさを伝えるポートフォリオ	・これまで制作してきた自分の美術の作品や活動をまとめ、ポートフォリオ(作品集)をつくる。 ・編集を通してそれまでの制作を振り返り、自分自身を見つめなおすきっかけにする。 ・出来た作品を他の人にも見てもらい意見感想を交換する。	a:これまでの作品を通して自分らしさを伝えるために、形や色彩の効果、全体の流れやイメージなどを捉え、表現方法を追及して創造的に表す。 b: コンセプトや伝えたい内容と、分かりやすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 c:これまでの活動と自分らしさを伝えるポートフォリオを制作する学習活動に主体的に取り組む。	作品	作品 アイデアスケッチ	振り返り 交流用紙 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度